



臨時災害FMラジオ放送を初めて実施！

～ 区内 99 か所の拠点で約 4,500 人参加の震災総合訓練！ ～

と き 平成27年9月13日(日) 午前10時～午後0時30分

ところ 防災フェスタ会場...光が丘第一中学校(光が丘6-5-1)・防災学習センター(光が丘6-4-1)

13日、練馬区は光が丘第一中学校(光が丘6丁目)と練馬区立防災学習センター(光が丘6丁目)で開催した防災フェスタで、「臨時災害FMラジオ」放送訓練を初めて実施した。これは大規模な災害が発生した際、区が運営する臨時災害放送局の開設訓練の一環として行われたもの。

区では今年度FMラジオ放送用の機材を購入し、災害時にいち早く正確な情報を伝える仕組みを導入した。当日は区内でインターネットラジオ放送局を運営している一般社団法人練馬放送とケーブルテレビジェイコム東京がアナウンスや訓練参加者へのインタビューなどを行った。

この他、はしご車体験搭乗、起震車体験、初期消火訓練、災害用伝言ダイヤル訓練、警視庁の警備犬によるデモンストレーションなどが行われた。昨日の地震を受けて参加したという家族は、「マンションの7階に住んでいますが、事前に体験をしているのとそうでないのでは、実際に災害が起きた時の心の余裕が違うと思う。いい体験ができた。」と話してくれた。

会場では区民防災組織による炊き出し訓練も行われ、カレーライスと豚丼1,000食が参加者にふるまわれた。



【FMラジオ放送訓練中】



【避難所スペースを見る家族】

1 「臨時災害FMラジオ」放送訓練

区では、今年度、FMラジオ放送用の機材を購入し、災害時にいち早く正確な情報を伝える仕組みを導入した。今回、防災フェスタで初めての放送訓練を行った。会場で放送を聞いた参加者は「避難所の情報とか、物資がいつ届くのかなどをラジオで聴くことができるのは、区民としても安心できます。」と話してくれた。

2 防災フェスタ

区民に防災を身近に感じてもらうイベントとして開催。起震車による地震体験、初期消火訓練などの体験型訓練をはじめライフライン機関や区内各企業によるブース展示、地域住民で構成する区民防災組織「避難拠点運営連絡会」による活動紹介、警視庁の警備犬による災害時救助デモンストレーションなどが行われた。炊き出し訓練ではカレーライスと豚丼1,000食が参加者にふるまわれた。

3 避難拠点開設訓練

災害時に地域の避難所と防災拠点となる避難拠点(区立小中学校)では、区職員や地域住民が参加して災害対策本部との無線通信訓練や災害時に既設の校舎内トイレが使用できるか確認する訓練などを行った。

その後、近隣の学校ごとに区内28か所の消火栓付近に集合し、スタンドパイプを使用した応急給水訓練と放水訓練を行った。スタンドパイプとは地下式消火栓の給水口と消防用のホースをつなげる金属製の器具で、一早く初期消火活動に取り掛かることができる。

区では避難拠点94か所と地域の住民で組織された防災会144団体に配備している。



【区が導入したFM放送用機材】



【消火栓につないだスタンドパイプ】

【問い合わせ】

防災フェスタについて : 危機管理室 区民防災課 区民防災第三係 電話03-5984-4504

臨時災害FMラジオについて : 区長室 広聴広報課 庶務係 電話03-5984-2694